

# 2012年度文学部卒業論文題目

## 【行動科学科】

### 〈哲学講座〉

- 板垣 歩 受け手の実践から考える傾聴の諸相
- 稲毛 敦史 アリストテレス『カテゴリー』—解釈と意義
- 河内 直人 行為と感情—プラトン、セネカから古代哲学者の感情論および正義論を通しての古典的文学作品の分析
- 大萱 晃子 胡適自由主義の帰趨
- 大森 凌 「発話行為」の検討—オースティンの言語行為論を手がかりに
- 小田切 航 移植用臓器のマーケット化に関する考察
- 佐藤 沙織 自分を騙すということ—自己暗示と自己欺瞞
- 菅原 紀一 「障害者」と「健常者」の関係に関する考察—健常者の側からの差別を読み解く
- 立野 真紀 『中庸』における誠についての考察
- 田中 堯皓 ライプニッツにおける観点の違いと善
- 外崎 明大 中庸の分化—中庸概念を支える道徳的基準とは何か
- 新島 亮 善く愛するにはどうすればいいか—トマス・アクィナスの情念と習慣・徳に関する考察
- 牧野 美里 『イメージの裏切り』から見える絵画タイトル『無題』の意味
- 松崎 健一 蘇軾の書に対する美学
- 森 泰介 心的因果の問題は解消できるか

### 〈認知情報科学講座〉

- 岡崎 聡 複合音中の周期性が同時性判断に与える影響
- 大森 正二 日本語会話におけるあいづちの後続文脈の検討
- 安達 啓晃 洞察問題解決過程における顕在的な認知プロセスのはたら

き

- 小川 真司 効率的な暗記方法の模索—書いて覚えることと歌って覚えることの効果—
- 小野 直紀 ジェスチャーの主観・客観視点の使い分けに関する要因の検討
- 仲村 愛 人口推定課題における他者の再認の影響
- 真鍋 美里 ハトにおける拡大・縮小刺激の運動速度による知覚変化の検討—回転螺旋パターンを用いて—
- 丸山 耕平 ハトの時空間的境界知覚における図形の色とドット密度の効果
- 山形 沙奈 ハトとヒトにおける二つの次元で変化する顔画像を用いて視覚課題：次元間の相互作用と類似性効果の検討
- 山野 春香 具体物の印象形成における名前の音象徴の影響—怪獣の名前からイメージされる性質—

〈文化人類学講座〉

- 瀬頭 尚子 腐女子たちの娯楽
- 竹下 知憲 サンバイレントに見る『共生』の流動性—『共生の町』再構築に向けて—
- 鷹鳥 慧 身体化する縄、呼応する身体—ダブルタッチの身体的『知』—
- 石井 善秀 社会的存在としての企業の地域でのありよう—野田のキッカーを事例として—
- 萩原 淳二 龍勢ロケットの推進力—未来へと向かう力—
- 飯田 洋平 珈琲がつなぐ人々—日本の喫茶店の現在—
- 池田 雄咲 いざゆけ炎の若鷹軍団、プロ野球におけるファン、企業、球団の実態—福岡ソフトバンクホークスを事例として—
- 片野未来子 『子ども』は『社会の鏡』なのか—子ども達を通して観る現代日本—
- 岩城 彩美 ビー・ワンダー!! B級ご当地グルメの表と裏—グローカリゼーションと真正性からみる富士宮焼きそばと静岡おで

ん—

- 内山 葉子 津軽の一代様信仰—伝承と『家』—  
山内 英明 狭間に生きる—福島県石川町における婚活の事例—  
山本真悠子 文化の伝承に関する—考察—仙台の福の神・仙台四郎を事例として—

〈心理学講座〉

- 山田 香織 ランダム数字系列の反復学習に及ぼす部分的置換の効果  
相田 直樹 拒絶感受性が他者からの曖昧な拒絶後の選択的注意に及ぼす影響  
穴山 絵理 視野闘争における知覚的優勢の持続が後の視野闘争に及ぼす影響—刺激に基づく影響と眼に基づく影響の検討—  
磯 由香莉 不確定事態における意思決定に及ぼす感情と感情制御の効果  
伊藤 光平 cognitive interviewによる誤情報への抵抗  
岩田 古都 批判者の立場、行為の意図性および自己愛傾向が逆ギレ反応に及ぼす影響の検討  
木村 雅哉 情動理解における聴覚情報と知覚情報の利用と認知スタイルとの関連  
小林 美沙 映像を使った感情操作が時間知覚に及ぼす影響—主観的な時間の長さと時間解像度による検討—  
佐藤 桃子 繰り返し提示刺激に対する認知が画像の印象評定に与える影響  
庄野 大貴 自然画像の空間的鮮明さに情景情報が及ぼす影響  
田中 侑華 安心さがし行動と安心さがし行動への対応との関連  
鳥居 淑乃 他者の第三者に対する視線方向の検出における感情の影響  
仲谷ちひろ 複数色からなるモザイクパターンの全体色決定メカニズムの検討  
花田 朱峰 3つの音楽構成要素と認知スタイルおよび音楽経験との関係  
林 哲生 色彩印象を用いたストループ課題と評定による連想度の関

係

- 朴 ゴウン 時間的距離感における自尊心レベル及び解釈レベルの影響  
平床早弥袈 情動知能における個人差と社会的認知—eye gaze  
direction Simon効果に着目して—  
栉井 友香 顔の肌にも固有の色知覚の検討—日本人大学生における男女  
差について—

〈社会学講座〉

- 上岡 翔馬 女性集団と男性—主夫の今後を考える—  
上田 美穂 パッケージデザインからみるジェンダー  
宇田川大輝 アニメーション制作現場の現状と課題  
打越 大介 現代社会の無関心（ナルシズムとうその問題）  
小澤 奈緒 自閉症という障害を抱えた子どもと向き合う母親たち  
葛西 健治 広告の新たな可能性  
川瀬 真穂 『女子力』という言葉に見る現代日本人の女性像  
木下 結生 “巨大なる” 新駅の誕生—横須賀線武蔵小杉新駅設置の経  
緯—  
栗原 朋子 摂食障害の家族のヴォイスから—家族が〈回復〉のために  
家族会を通して歩んできた道—  
郡司 康弘 『カフェ』の社会学  
佐竹 幸子 心理学化する社会の中で  
佐藤 亮介 東京下町のコミュニティとまちづくり 谷中と京島の事例  
から  
菅野 八幸 日本の貧困と生活保護  
鈴木富美子 JR山手線はひとに優しい乗り物か？  
種村 友里 『スポーツによるまちづくり』をめぐるローカル・ガバナ  
ンス—市原市とジェフユナイテッドの事例から—  
田村さえ子 現代における『家』と家族  
徳丸 優子 学校が階層化社会になるとき—スクールカーストの実態と  
その認識過程—  
長尾 彩 なぜ人は動物園に行くのか—千葉市動物公園の事例から見

- 二瓶真梨子 動物園の社会的役割—  
『ふるさと』のエッセンス
- 平尾 光 化粧療法は誰のために？—高齢者をめぐる心のケアの可能性—
- 平川 惇 多元化する若者の自己と対人関係—因子分析法による自己再類型化の試み—
- 堀内 飛鳥 現代日本の自殺論—過剰報道、いじめ、ネット—若者を死へ誘う現状とは
- 宮内真太郎 『大学生芸人』とは。そして、『大学生芸人』である理由とは。
- 劉 南侖 現代結婚の意味を問う—未婚女性から見る女性の自立—  
豊永 周平 文系大学生がWebサービスを作るまで

### 【史学科】

- 阿部 希 米軍基地における女性問題—東京都を中心に—  
飯島 周子 石上神宮七支刀の呪術的意義について  
池淵 雄樹 足利義政が必要とした湯起請—当時の時代と国家的な祈禱性質から考える—
- 一牛ゆかり 安政2年地震後の両国橋渡り初めの歴史的意義—災害復興セレモニーとしての渡り初め—
- 市田 真也 中国三石時代 呉の盛衰—名士・豪族・孫家の攻防—  
伊藤 弥生 ドイツ第三帝国の「安楽死」計画における戦況悪化の影響  
稲葉 恵 関東大震災後の「精神的復興」と教育—東京市の小学校教育を中心として—
- 井山 史子 アメリカにおける親イスラエルイメージの形成—映画・ドラマの分析を通じて—
- 宇都 健一 1870年代アメリカにおける日本認識—岩倉使節団の新聞報道分析による—
- 岡本 仰 フランス革命期における子女問題の対立関係—テロワ・ニュー・ド・メリクールを主軸に—
- 小田桐 優 現代日本人の古代ローマ人への意識とその共通点—美意識

- の観点から—
- 折登 祐介 十三湊都市景観の考察—十三湖北岸地域への都市域拡大について—
- 姜 榮帥 15年戦争に動員された朝鮮人の傷痍軍人に関する考察
- 菊島さとみ 18世紀イギリスにおける「子供」のイメージ—《グレアム家の子供たち》を中心に
- 五味 玲子 近世長崎における日中貿易政策—「盈物」慣習を中心に—
- 坂内 翔太 関東大震災における失業
- 坂本 茂樹 二・二六事件における青年将校の思想とその組織の欠陥に関する考察
- 佐々木千春 1923年ギリシア・トルコの住民交換—当事者の経験からみる強制移住—
- 佐藤 祐志 中世ヨーロッパの贖罪史におけるアイルランド—贖罪者に見るその特性と歴史的考察—
- 里森 晃 改革組合村における「危機」と「公共性」—下総国香取郡多古村組合を事例について
- 代田 和年 日記にみる近世村落上層民の学び—「読書」と師事について—
- 鈴木 晶子 1930年代フィンランドにおける内外政策とその担い手—対ソ連外交政策を中心に—
- 鈴木 詩織 吉備大臣入唐絵巻」の異国表現
- 高山 修 室町幕府の徳政政策—天文八年における事例の検討—
- 出川 英里 リファーマ・タフターウィーの「ワタン」概念について—「国民」と「祖国」—
- 長井 孝憲 日露戦争期のオーストラリア産馬輸入事業と20世紀初頭の日豪貿易
- 野口 陽子 日本近世後期地域社会における老人の役割—宇和島藩御城下組田中家を素材に—
- 花澤龍太郎 中谷治宇二郎の方法論再考
- 林 保奈美 近世寺院による赦免嘆願の社会的背景—成田山新勝寺の事例から—

- 藤田 紗樹 「なよ竹物語絵巻」の注文主・製作者・制作年代に関する考察—顔貌表現と画面構成を中心に—
- 細田 大樹 戦国大名間外交における取次—房総里見氏を事例として—  
平 佳琦 20世紀前半中日密教交流の僧侶ら—持松法師に関する—  
考察—
- 堀内 陽来 カンタベリーのアンセルムスの政治的野心—書簡における「utilitas」の用法を手がかりに—
- 村上 浩代 東京湾沿岸地域における抜歯風習の様相—縄文中期から後期を中心に—
- 家敷 貴大 オスマン帝国の1535年フランスカピチュレーションの有効性—勅令の検証から—
- 矢ノ根章史 大正期における新聞と読者の関係について—『横浜貿易新報』投書欄を手がかりに—
- 米城百合子 房総における馬の埋葬について—中近世を中心として—

### 【日本文化学科】

- 雨宮 章太 属性叙述受動文について
- 井上 裕里 和製洋語の通時的研究
- 今井 彩恵 枕詞の古層—地名表現を中心に—
- 岩橋 直哉 梶井基次郎『檸檬』論
- 植木 佑依 長崎県佐世保市における可能表現についての研究
- 河内 与実 三島由紀夫論 一九五〇年代前半の「通俗小説」研究—『純白の夜』『夏子の冒険』を中心に—
- 岸上 沙織 竹久夢二論—子ども向け作品における変容—
- 北原奈々帆 仮名読新聞における用字の研究
- 金 嫦娥 韓国語母語話者の話題開始—日本語母語話者・非母語話者との初対面会話を中心に—
- 久保 美里 万葉集にみる占
- 黒田 千穂 安部公房『燃えつきた地図』論
- 黒田 未希 兵庫県播磨方言の否定表現について—過去否定を表すズを中心に—

- 佐藤香菜子 中国内モンゴル自治区東部の食文化  
佐野 怜生 現代日本共通語におけるサ行変格活用の変容傾向の研究—  
複合動詞を中心とした活用の調査と論考—  
須藤 翼 現代日本語における丁寧表現について  
竹川 進平 「軸」と「要素」から考察する人気漫画の要因  
塚原 由実 白浪物研究  
中村さゆみ 雅文小説の研究  
長町 拓樹 長野県立科町蟹窪地区におけるたばこ栽培の技術とオーラ  
ルヒストリー  
二階堂 拓 中国における人口政策による高齢化社会  
野城慎太郎 『今昔物語集』における地藏信仰のすがた  
長谷川みか 現代家庭の食習慣における日常性・非日常性  
平尾香穂里 仙台方言における命令・勧誘表現についての研究  
平岡 亮治 浦島説話の地方伝播  
細野英里子 様態の「そうだ」について—否定的表現形式を中心に—  
持田 秋香 『梁塵秘抄』研究—ものづくし歌謡の表現性—  
安田 佳純 茶道における植物を通じての美意識  
山崎 和 藤枝静男『空気頭』論—藤枝静男の私小説観と「戦後」批  
評家の私小説論の差異  
吉田 裕美 和語と漢語—「シノノメ」をめぐって—  
脇坂 美里 話し言葉における長母音の短母音化について  
湯浅 隆良 変容する挿絵—近世における〈俗〉の文化—  
小林 大介 戦国時代日蓮宗僧侶日我について  
鈴木 奈生 山東京伝『四季交加』私論  
吉田 雅幸 牧畜民の家畜儀礼  
吉本 眞琴 『大鏡』の研究

【国際言語文化学科】

- 石川 舞 The Transition of the Beatles' Music, 1950s-1960s:  
Did the Beatles Really Destroy Rock 'n' Roll?  
石川 由佳 現代ロシアにおけるジャズ文化



- 井上久美子 ト라우マ・PTSDからの「回復」の問題  
—ホロコーストを参照して
- 榎田 亮太 ドイツ国歌をめぐる問題—成立の経緯から
- 大関 麻里 日本におけるディズニー文化  
—日米のディズニー・テーマパーク比較
- 小川友里恵 Mhd. と Nhd. 間における話法の助動詞の用法の変化  
—Das Nibelungenliedをテキストに—
- 兼子 美咲 The Relationship between Marriage and Fortune in  
*Pride and Prejudice*
- 川田 智恵 マリー・アントワネットを取り巻いたモードとその影響
- 木内亜依厘 ルイス・ブニュエルと現代の映画監督
- 木之内あゆみ Locative Alternation in English
- 金 政娟 日本とスペインの教育制度・教科書の比較  
—小学校1年国語教科書を中心に
- 金 畢南 19世紀ロシア文学の中のシベリアの二つのイメージにつ  
いて—ユートピア的見解を中心に
- 京増 紫織 What is Monstrosity of the Creature in Mary Shelley's  
*Frankenstein*?
- 小嶋 麻海 パリのレストランと人々
- 今野 慧海 The Civil Rights Movement in Films: An Analysis of  
*Mississippi Burning* (1988) and *The Hurricane* (1999)
- 後藤 花奈 原爆をめぐる文化的記憶—個人的記憶と集合的記憶
- 白石佳奈子 統一ドイツ社会におけるオスタルギー現象の考察  
—東欧の事例との比較研究を通して—
- 土屋 響子 ヨシフ・ブロツキーにおける「リトアニア」と「亡命」  
—『リトアニア喜遊曲』『リトアニア夜想曲』を中心に—
- 中川 聡 戦争とジャズ—ドイツ第三帝国と日本に見る敵性音楽
- 中村 修 ヨーロッパサッカーと移民・外国人問題  
—ドイツ代表・ブンデスリーガを中心に—
- 中村 彩子 The Analysis of Green Day's *American Idiot* and Its  
Impact on the Presidential Election in 2004

- 中村 萌 ゴラとセザンヌの芸術観  
—印象派の影響と様式の確立をめぐる—
- 野口 珠岐 フランス語の全体疑問文における倒置
- 野嶋 聡美 太平洋戦争をめぐる日米間の認識の相違
- 橋本 薫 シャガールの絵画における独創性と謎の考察
- 深井里奈子 欧文書体の文化史的意義と機能
- 舟橋 友貴 現代ドイツ・日本・アメリカから見たナチズム
- 町井 耀 ドイツ第三帝国における音楽の意義  
—クラシック音楽を中心に—
- 茂木ありさ エジプトにおける女性の地位—女性解放運動の動き—
- 森 紗彩 Victor's Unnatural Relationship with Women and His Profane Creation in Mary Shelley's *Frankenstein*
- 矢野 菜摘 日本人の英語の第三者言語接触場面における調整行動  
—相手言語接触場面との比較を通して—
- 山田 紘平 映画から考察する現代フランスの移民問題  
—アルジェリアとの関係を中心に—
- 吉塚 彩織 シュルレアリスムにおける絵画の位置—シュールな絵とは
- 吉原 千尋 マルセル・デュシャンの芸術観
- 津元 萌子 三宅一生、川久保玲の反抗するファッション
- 菊地 健仁 "Schneewittchen" (KHM53) に見る女性像と『グリム童話集』の変遷
- 小山内瑠璃 日本における電子書籍の批判論についての考察
- 佐々木理奈 エーリヒ・ケストナー『点子ちゃんとアントン』(1931)  
とカロリーヌ・リンクによる映画化(1999)の比較  
—女性と家族関係の描き方を中心に—
- 佐藤 由記 La Movida Madrileña  
—フランコ死後のスペインの若者文化—
- 矢寫 真美 The Function of Rosalind's Male Disguise in *As You Like It*